

# ミンク岡山情報

中国民放クラブ  
岡山支部  
2014. 10. 15

## 秋の例会は

### 「地下工場」に熱視線

”水島にある亀の形をした山の下に

地下工場が眠っている”



この地下工場はなんだかんだ言われながら、語り継がれてきた。我会はこの戦争史跡を確か

めたいと、申し入れていたが、今回実現した。現地では「亀島山の地下工場を保存する会」などが中心となって我々二十人を迎えていただき、



史実に沿った丁寧な説明があつて、メンバーは大納得でした。

終戦の直前、極悪の労働環境の下、延2キロにも及ぶ地下トンネルをおよそ4ヶ月で掘ったという戦争の狂気を改めて思い知らさ

れた。

薄田泣蓮の生家、倉敷芸科大のキャンパスでは濱家教授との青空茶話会もおつなものでした。

RSKOB 水川勝彦 記

## 「同好会便り」

ミンク岡山のみなさんへ

### 「柿狩り」のおしらせ

梶谷、桐野、大前農園からの連絡です。秋恒例の「柿狩り」を次のように実施します。おいしい柿を採り放題です。今年も楽しい「柿狩り」へどうぞ。

〈日時〉 H26年11月12日(水) 10時

〜12時

〈場所〉 梶谷、桐野生き生き農園(中原橋北、笠井山のふもと)

\* 初めての人も歓迎。駐車場所が狭いので、各自連絡をとって乗り合わせで参加を。

\* できれば鉢と袋を用意して来てください。(現場で足りない場合がありますので)

## パソコン勉強会の

### 活用を!

民ク岡山パソコン勉強会は毎月、第2火曜日10時〜津島カンコースタジアム(岡山市北区津島)の教室にて開催して

います。

最近パソコンの動きが遅くなったとかソフトの使い方など分からない事がありましたら遠慮無く参加して聞いて下さい。継続して参加する必要も有りませんので、その回だけ来ていただいて解決していくことも可能です。インターネットによる検索方法、メールによる民クからの各種案内の受け取り方やホームページへの投稿、ネット通販などの方法についても意見交換しながら勉強しています。ノートパソコンを所有の方は持参していただければ解決が早いです。

パソコン勉強会幹事 立花  
サポート役 祇園、若槻他



## 写真同好会

### 第三回ギャラリー写真展

ホームページ写真展10周年を記念して始めたギャラリー写真展、思わぬ反響をよいことに3回目となった今回は17人が32点を展示した。作品はといえは自宅近くの風景から海外ま

で千差万別、なにせあり余る時間をどんな遊びに使っていいのかわからない「趣味人倶楽部」の作品である。初日、出品者が集まって作品を展示、パネルに並んだ作品をながめつつ、自慢話、いやいや失敗談に花がさいた。今回は何人が足を運んでくれるだろうか？一抹の不安と滅多に会う機会がない人との出会いに思いを馳せた。

写真同好会代表幹事 佐藤 清



八月小学館より「アトビーに朗報！日本型バイオライスパワーに賭けた40年」を発売しました。本のタイトルは家庭の医学の欄に入りそうですが、大きな負債を抱えながら必ず開発できると夢を追い続けた男のノンフィクションです。

主人公は香川県綾川町の勇心酒造社長徳山孝。彼は東京大学大学院博士課程時代に「人間は自然の一員として、自然に生かされている。3000年食べ続けてきた米には多くの有効がある」と確信し、40年研究開発に取り組みました。その研究成果としてライスパワーエキスと名付けた新素材開発されました。その新素材は、厚労省が戦後初めて医薬部外品皮膚水分保持能改善という新規効能を承認しました。

夢を追い続けた男と、彼を支え続けた人間模様など取材202ページの新書版にまとめましたアマゾン、丸善、宮脇書店など全国大手書店で販売中です。是非「一読いただければ幸いです。

OHKOB 入野和生

## 一冊の詩集との出会い

RSK・OB 松田通男

確か二年ほど前のことだった、と記憶している。岡山市北区三野の旭川に近い県道岡山美作線沿いにあるカフェに立ち寄り、コーヒーを飲むついでに、店内に置いてある新聞や雑誌類の中から何気なく取り上げた一冊の詩集を手にして、その表紙のタイトルにまず目を魅かれた。

「岡山発津山行き最終バス」

およそ詩集のタイトルとも思えない。むしろ「推理小説の表題？」、と勘違いしそうなタイトルではないか。

横書きの表題の上には赤やオレンジ、緑やブルーの色彩豊かな屋根根瓦の家並が重なるように、

細いペンを使ったスケッチ画が描かれている。表紙を取り巻く茶渋色の帯に、詩集の一節が紹介されている。

バスは夜の入り口をひたはしり

予定より少し遅れただけで津山に着いた

心の断層を軋ませてブレーキがかかり

何事もなかったかのように停車した

詩「岡山発津山行き最終バス」より

著者は誰だろう、と最終ページをめくってみてまた驚かされた。

著者 多田 聡（本名 赤木真也）

一九九〇年 山陽放送株式会社定年退職

所属 岡山県詩人協会、詩人会議

所属誌「道標」、「徑」

裏表紙にはカバー画 江草昭治の名前。

そうか、赤木真也、江草昭治コンビの詩集だったのだ。

因みに出版社は「コールサク社」。

「読んでみての感想は？」、と聞かれそうだが、それこそ、「読んでみてのお楽しみ」とだけお答えしておこう。

残念ながら、赤木真也氏は既に他界されている。

## タイ・チェンマイ滞在を終えて

元民ク会員（RSKOB）高屋 盈

2003年8月12日に何気なく見ていたテレビで、タイ国チェンマイでロングステイしているご夫妻の生活振りに触発されて、一年半の準備期間の後2005年2月7日より家内と共にチェンマイで生活する様になりました。

そして9年半チェンマイで本当に楽しく有意義な毎日を過ごすことが出来ましたが、残念なことには癌に侵され、やむなく療養のため8月22日に岡山に帰ってきました。

振り返ってみますとチェンマイへのロングステイ行きが確定していた2005年の年賀状に、下記のような心情、決意が認めてありました。

記

私たち夫婦は長期リタイアメントビザを取得して二月よりタイ王国チェンマイ市でロングステイすることにしました。

海外移住は私が高校時代に熱望したことで、その時描いた内容とは大分異なっています。この歳になってその夢が、実現出来る事に身震いするような感動を覚えています。

タイ国ではスローライフを心がけ、国内はもちろん近隣東南アジアや中国にも旅してみたいと思っています。

またこの機会に、私共は外から日本を見てみたいし、65年間の恩寵に満ちた人生をゆつくと振り返りながら、これから先も、もつと自分らしい

生き方を追求して見たいと思っています。



pixta.jp - 1681655

ちの行くのを待つてくれます。か

の地においては日本人だけでなく、現地在住の色んな人達との交友が、新しく構築できるものと期待しています。そして今までの人生に感謝の気持ちをこめて微力ながら、ボランティア活動が出来れば

## ―会員だより―

### 四作目の本を出版

皆さんお元気でしょうか？拙著四作目の本が出版されましたので、紙面をお借りしご報告とPRをさせていただきます。

この上ない幸せな事だと思っております・・・  
等々

以上

チエンマイでの9年半の歳月は、この年賀状に書かれている決意の95%以上が達成されたと確信しています。こう思えることは私にとつては非常に幸せなことです。

あと残りの5%の達成は、タイ国最南部の（県）（ヤラー県、ナラティワット県、パッタニー県）に行けばタイ（）県全てを踏破出来、タイ隣国のラオス、マレーシア二国に行けばタイ近隣東南アジア全ての国を踏破することになります。

このタイ国内三県と、ラオス、マレーシアの二国には従来のようにタイにロングステイしなくても日本から短期の旅行を2〜3回行けば簡単に達成することが出来ます。

この目標達成のために、今後の日本での病氣療養に励みが出来ると言うものです。

一日も早くタイに旅行したいと思う一方で、久しぶりの美しい日本の秋を、そして美味しい日本の味覚を味わっています。

今一番の心配はがん治療よりも、十年振りの日本の冬の寒さに耐えられるであろうか？



何が何でも耐えなければいけないと言う思いです。幸いなことに帰国して一月半の間に体力も大分付いてきて、食欲もありこの調子だと少し身体に負荷をかけたほうが良いとの医師の進めもあり、散歩の距離を少しのばしたりゴルフもそろそろ近くの練習場に行ってみようかと思っている今日この頃です。

安田了三補記

高屋盈氏の住所：702-8046 岡山市南区立川町

10-8 ☎086-262-1565

e-mail：kky9109@nifty.com

そのうち機会を見て民クに復帰されるよう勧誘してみるつもりです。

## 八月に思う

ネットで簡単に情報が入手出来るようになり、若者の新聞離れがいわれていますが、活字文化で育った我々の世代（シンク会員は？）は毎日の新聞が欠かせません。

高校野球が好きで他府県の地方大会の結果を

知りたく七月、定期購読を山陽新聞から朝日新聞に替えました。

そして八月、朝日の慰安婦問題の特集記事めぐってメディア各社の「朝日批判」とりわけ出版社系週刊誌と集団的自衛権の行使容認を主張する新聞（推測がつくと思いますが）は「朝日の誤報が日本を貶めた」と激しいバッシングを展開しました。加えて福島原発のいわゆる「吉田調書」の誤報と池上彰さんのコラムを一時、掲載見合わせで「朝日バッシング」はエスカレートしました（上述の新聞は今も朝日を攻撃しています）。

誤報や捏造は決して許されるものではありませんが、朝日が「吉田証言」を虚偽として記事取り消しをしたからといって慰安婦問題がなくなつたわけではありません。メディアは今後も「自国の負の歴史」の本質を伝える責務があります。

政府が非公開としていた「吉田調書」は朝日の誤報で結果的に公開となりましたが、逆にいえば朝日が「吉田調書」を入手（9月28日）していなければ我々は知る事が（吉田調書）出来なかつたこととなります。また東北大地震発当時は民主党が与党。今は朝日に批判的な安倍政権政府の「吉田調書」公開の意図が読み取れます。かつて報道の仕事に携わった者のひとりとして、考えさせられた八月でした。

OHKOB 行本章允

\* なお「吉田証言」「吉田調書」と紛らわしい文語がしばしば出てきます。

ご承知で失礼かと存じますが、「吉田証言」は慰安婦問題。「吉田調書」は福島原発です。念のため申し上げます。



## 合縁奇縁

RSKOB 菅田一郎

久しぶり昨日会ったの忘れてる

また飲もう鶏呑みにしたら皆自

腹

出す出すと小銭を握る飲み仲間

現役で言った言わぬが尾を引いて

読経背に会話が弾む同窓会

続柄妻を間違え毒と書く

愛してる言ったがために蟻地獄

人生の転機となったあの寝言

聞き返す半分以上独り言

患呼吸で阿吽の呷も乱れがち

英会話箱根超えたが大井川

雁首を揃えて詫びるハーモニー

お隣の夫婦喧嘩に敬てる

救急車毎日同じ家に来る

今月は会話したのが主治医だけ

振り返るこんなはずじゃなかった

に

編集後記

今回も多くの方々からの原稿で、充実した紙面になったことを感謝申し上げます。特に高屋さんの「タイ便り」は、うらやましさもあいまって、読んでみたい一文でした。ありがとうございました。(S)